



公開講座レター

No.3



今年度から、公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や、参加者の声をお届けする「公開講座レター」を発行しています。

今回は、6月から7月に実施された公開講座「映画の世界、映画と世界」「詩・短歌・俳句・川柳に強くなろう」の様子をお届けします。

講座名

映画の世界、映画と世界

開催日

6月27日、7月4日、11日、18日（木） 18:30~20:00

講師

行政政策学類教授 久我 和巳

講座の概要

世界で初の映画から、現代映画まで、世の中の移り変わりと共に変化していく様子を、映画を鑑賞しながら解説していただきました。

世界初の水墨画アニメ（中国）や、音楽と映像だけの“岸辺の二人”（オランダ）、ガラス細工をいくつも繋げ合わせて制作したアニメなどは、私たちが知っているアニメの常識を覆すような作品ばかりで、とても興味深いものでした。

各回の内容

6/27 「映画の始まりとリュミエール兄弟」 世界で初の映画（同じ場所で撮り続ける無声映画）からモンタージュの完成までの解説と共に、代表的な映画の一部を鑑賞

7/4 「日本映画と活弁の時代」 日本映画の始まりから、日本特有の『活弁』の利点と欠点について、日本で一番古い劇映画など何点が鑑賞

7/11 「アニメーション」 アニメーションの定義、表現の特徴、制作過程についての解説、チェコ・ロシア・オランダ・中国・日本の初期のアニメを鑑賞

7/18 「映画のこれからと映画鑑賞」 商品としての映画、映画産業の仕組みの変化など、『ふくしま映画塾』受講生の作品とスタッフによる作品を鑑賞

参加者の声

- ・映画、映像の起源や歴史について、興味深い内容と思いました。
- ・アニメに対する見方や考え方が『目から鱗』で、とても良く分かりました。
- ・映画好きの私にとっては、新しい発見があり、興味深く受講できました。ありがとうございました。
- ・今まで何となく見ていた映画が、これからは違う角度から見られそうな感じがします。
- ・初めて聞くことも色々あり、良い経験になりました。
- ・アニメにも素朴なものや、大人向けのものがあることを知り、イメージが変わりました。

講座の様子



講座名	詩・短歌・俳句・川柳に強くなろう
開催日	7月22日(日) 13:30~15:00
講師	前福島大学教授 澤 正宏

講座の概要

詩・短歌・俳句・川柳などの鑑賞を含めた魅力、創作のポイントなどについてお話しいただきました。

みなさん内容にはとても満足していたようですが、良かっただけに、もう少し時間(日にち)が欲しかったという声が多く聞かれました。実際に創作してみる時間も欲しかったようです。

各回の内容

7/22 詩・短歌・俳句・川柳の実践的な創作をめざして

「創作に関する考え方」 表現の特色、普段の心構え、言葉の使い方

詩・短歌・俳句・川柳の本質

詩・短歌・俳句・川柳を如何に書くか

講座の様子



参加者の声

- ・初めての句作りの参考になりました。
- ・とても面白かったので、時間がもっとあれば良かったです。
- ・詩・短歌・俳句・川柳の4つをまとめてやったのは、違いが分かり大変良いと思いました。
- ・大変興味深い講座で、先生のお話も大変ためになりました。
- ・澤先生の講座を受講したかったのでうれしく思いました。

た。(なかなかチャンスがありませんでした)

- ・良く理解できました。3回くらい連続であれば良かったと思います。
- ・最近川柳に興味を持つようになりました。先生のお話にありましたように、心からつづきたいことがたくさんあるので、これから勉強して書いてみようと考えております。
- ・新聞の短歌、俳句、川柳の欄をいつも見っていますが、今度は自分でも作って、投函してみようと思います。
- ・内容がすばらしく解りやすかったが、もう少し時間を長くして、ゆっくり進めてほしかった。
- ・思っていたより、詩は難しいなと思いました。優しい先生だなと思いました。
- ・講座の内容とバランスが良かった。
- ・時間が足りない。実作の時間もあると良かった。

作成：地域連携課
2012年9月